

インバウンド向け英語版ウェブサイトを公開しました



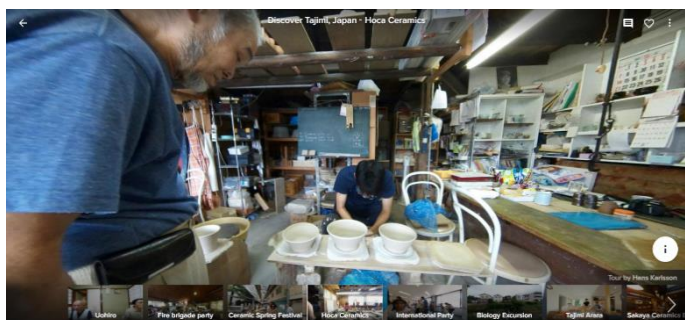
観光協会が、最先端技術での情報発信を得意とする（合同）Mimir と共同で市内の魅力的な観光情報を世界へ向けて発信するインバウンド用英語版ホームページ「DISCOVER TAJIMI」を作成し、8月1日から公開しました。内容は、多治見市在住の外国人（スウェーデン人）が、日本人とは異なる目線で取材し、感動したり面白いと思った人物、景色、文化などを紹介したものです。観光協会員の美濃焼販売店、窯元、作陶施設、食事処などを取材し、じっくりとインタビューをした内容を録音し、外国人のフィルターを通して文章化しています。

また、通常の画像の他に、世界的に普及が拡大している※VR動画を多数掲載しています。ホームページを見た外国人が、遠く離れた多治見へ実際に足を運んでいるような感覚を体験することが可能で、多治見に関心を持ってもらうきっかけとなることを狙います。

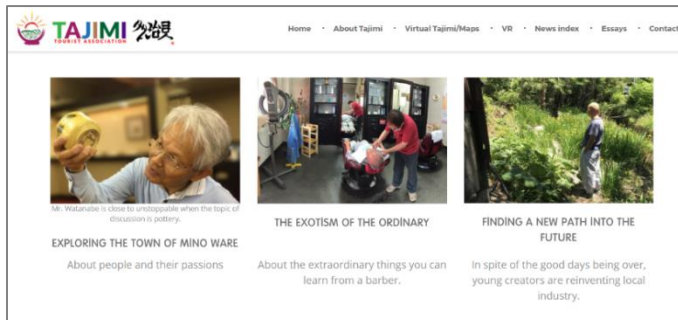
※VR＝現物と同じであるような環境を、体験者の視覚等を刺激することにより理工学的に作り出す技術。360°の臨場感ある画像が楽しめる。本格的なVR視聴にはスマートフォンと専用のゴーグルが必要です。

ターゲットは、日本の地方の文化・体験を長期滞在して楽しみたいというニーズが高いFIT（海外個人旅行者）です。ホームページに掲載される多治見を紹介するエッセイは毎月2回、イベント情報は随時更新され、何度も見たくなり多治見へ足を運びたくなるようなサイトを目指します。

ホームページアドレス <http://www.discovertajimi.com/>



ホームページ内容（VR画像）



多治見を紹介するエッセイ



取材の様子

VRカメラを設置しました！

外国人観光客の方に窓口でホームページを見ていただけるよう、VRカメラ3台を設置しました。

（多治見駅観光案内所、多治見市PRセンター、omiyaの3店舗）

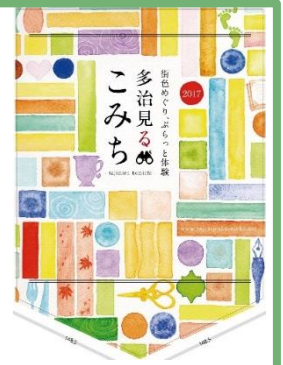


49の体験プログラム・多治見るこみちを開催します

これまで東濃3市で開催してきた「美濃焼こみち」を、今年から観光協会が事務局となり多治見エリアを中心とした体験型観光イベント「多治見るこみち」として開催します。（開催期間／10月2日（月）～11月26日（日））

説明会や口コミで集まった東濃地方在住の44名のパートナーが、各自の得意分野を磨き上げた特別な体験を提供し、参加者に楽しんでもらいます。体験の種類は「つくる・めぐる・まなぶ・あじわう・みがく」の5種類。地元の案内人と一緒にめぐる製陶所見学ツアーや、タイルアクセサリーの絵付け体験、商店街のグルメツアーなど、ガイドブックには載っていない魅力的なプログラムが、全部で49種類揃いました。

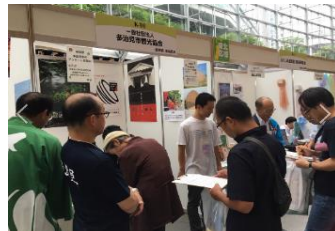
昨年までの傾向から、参加者のターゲットを女性に絞り込み、地元はもとより名古屋、東海エリアへの情報発信を行います。参加者が体験をするだけでなく、周辺の観光施設にも足を運んでもらえるよう、「多治見るこみち」のガイドブックには「SNS映えする写真を撮るおすすめスポット」として観光情報も掲載しました。



日本版DMO候補法人に登録申請

（一社）多治見市観光協会は、5月12日に日本版DMO候補法人として登録申請されました。今後、観光庁等からの支援を受けてマーケティング調査等を行い、観光地域づくりを行います。第一歩として、多治見市の観光地としての現状を正確に把握するため、とうしん地域活力研究所と共同でアンケート調査を始めました。

全国の信金ネットワークと、地元 東濃信用金庫各支店を活用して日本中の声を集め、その結果をもとに観光地経営のあり方を検討していきます。



8/22～25 よいお仕事フェア会場（東京）でのアンケート調査

うながっぱラッピングカー愛称決定！

今年5月に観光協会社用車として納車された、うながっぱラッピングカーの愛称を募集したところ、6歳～73歳まで幅広い層の市民から25件の応募があり、審査の結果、土屋もえちゃん（6歳・多治見市在住）が考案した「うながっぱピンク号」に愛称が決定しました。

当選者を含む家族4名が、9月24日開催の表彰式に参加し、古川観光協会長、うながっぱと一緒に愛称のマグネットを貼り付けます。その後「うながっぱピンク号」に乗って観光名所を巡るミステリーツアーに招待。タイル工作や絵付け体験、美濃焼の器に盛り付けられたランチを楽しんで、多治見の魅力を満喫してもらいます。



グッズ開発・販売に力を入れています

夏の多治見を涼しい音色で癒す、美濃焼の「うながっぱ風鈴」を500個限定で製作・販売しました。夏の間、JR多治見駅にも飾られています。その他、うながっぱTシャツ、ボールペンなど、観光協会オリジナル商品が続々と登場しています。4月から観光協会が運営している「omiya」では、店舗前に建つタイルマン像にちなみ、キン肉マングッズの取り扱いを始めました。全国のファンが訪れ、記念撮影の後、多治見の土産品と一緒に買い求めてくれます。これらの売上は観光協会の事業費として活用していきます。



風鈴の転写貼りの様子



岐阜新聞でタイルマン特集記事

うながっぱ活動状況（5月～7月）

- 5/18 うながっぱラッピングカーお披露目
- 5/21 FC岐阜 ホームタウンデー
- 5/28 東山動物園 岐阜県観光展
- 6/25 かさはら陶器まつり&産業フェスタ
- 7/1 BRIDGET 1DAY ダンスクリニック
- 7/15 栄オアシス21 んふたび&マルシェ
- 7/21 りばーびあ
- 7/22 刈谷ハイウェイオアシス 観光PR展
- 7/20・24・29・30 うながっぱうちわ配り
- 8/16 うながっぱのお誕生日会

TREE by NAKED 等で開催したお誕生日会では、約200名の参加者と一緒に、10年間の活動写真を振り返ったり、クラウンのパフォーマンスを楽しみました。



多治見市観光協会会員メーリングリスト登録のお願い（別紙参照）

メールアドレスを登録された会員の方に、メディア取材、イベント出店、セミナー開催などの情報をお届けします。